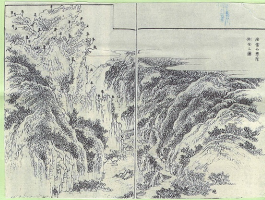


8. 座頭岩

尾神沢に面する落差100m以上に及ぶ岩の露頭と、その上の赤松林が醸し出す溪谷美が特徴です。岩の形が座頭(剃髪の盲人)が首をもたげる様に似ることからこの名が来す。

幕末～明治の津軽最大の画人とされる平尾魯仙の「合浦山水観」にも描かれています。



合浦山水観に描かれた座頭岩



現在の絵の場所

- 鳥居がありました。
- 徒歩で行ってみてください
- 平尾魯仙さんは津軽のゴッホとよばれているそうです。



- 小さい魚がいました。
- 川がすごくきれいだった



りんごの名人の
斉藤昌美氏の
顕彰碑があります

